

BUSINESS REPORT

第74期中間期 2025年1月1日～2025年6月30日

株式会社ナカニシ



NSK
Create it

Top Message

[株主の皆様へ]

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度上半期は、コロナ特需後の反動減から脱して、緩やかな需要回復の局面を迎えていました。円高の進行や米国の関税政策など、事業環境には逆風が吹いているものの、歯科・外科・機工・DCIの各事業は概ね堅調に推移しました。この結果、連結売上高は391億円、EBITDAは103億円となりました。為替差損や過年度法人税等を計上したため、経常利益は69億円、親会社株主に帰属する中間純利益は35億円となりました。

今年3月、ドイツ・ケルンで開催された世界最大規模の歯科展示会「IDS2025」にナカニシグループを挙げて出展し、精力的なマーケティング活動を展開しました。世界中から来場した歯科医師や流通事業者に向けて披露した歯科用ハンドピースや予防歯科製品の新製品はいずれも非常に高い評価を得られ、展示会期間中に多くの商談を獲得しました。今後の業績拡大に貢献してくれるものと期待しています。

きたる2030年にナカニシは創業100周年を迎えます。この重要な節目の年を迎えるにあたり、ナカニシグループが進むべき道を明らかにするべく、新しい中期経営計画「NV2030」を策定し、発表しました。創業から研鑽してきた「削るテクノロジー」により、この世界に「美しい進歩」を創造していく。当社が掲げるミッションの実現を通じて、より良い未来を描いてまいります。そして、世界に広がるナカニシグループの全従業員がONE TEAMとなって次の100年に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

中西 英一



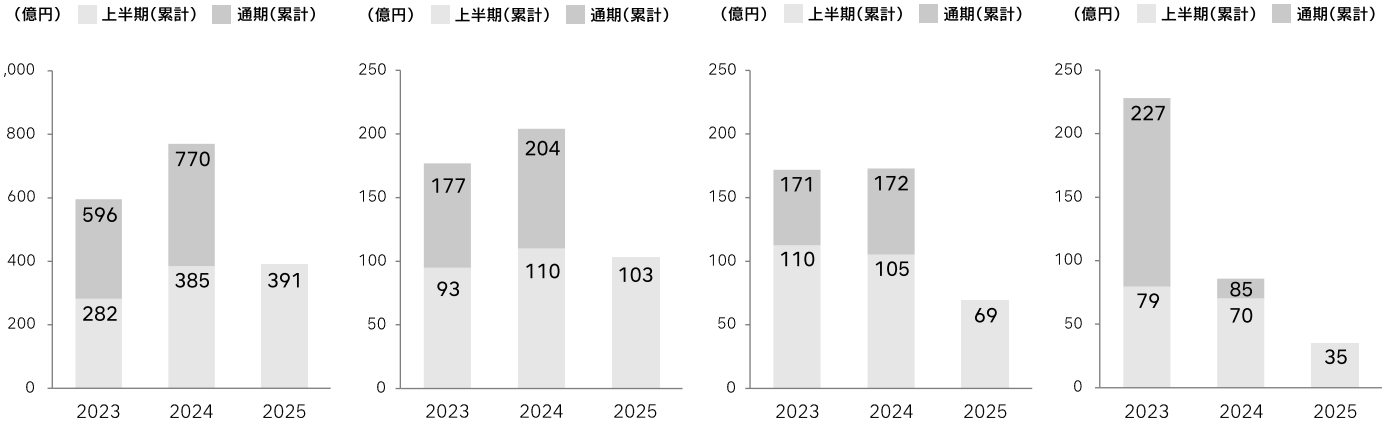
Financial Summary [決算概要]

2025年度上半期の業績概要

2025年度上半期の売上高は、前年同期並みとなりました。為替が円高に振れたことで売上高が目減りしたものの、大幅伸長した外科事業や堅調に推移した歯科事業・DCI事業が売上高を下支えしました。一方、歯科展示会出展や米国・外科の販売体制強化等で販管費が増加したためEBITDAは減益、為替差損や過年度法人税等の計上により中間純利益は減益となりました。

売 上 高		E B I T D A *		経 常 利 益		親会社株主に帰属する中間純利益	
391億円	前年同期比 +1.6%	103億円	前年同期比 -6.0%	69億円	前年同期比 -34.1%	35億円	前年同期比 -50.0%

*EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却額



2025年度業績予想

2025年度上半期の業績を振り返ると、通期業績予想に対する進捗率が高いものの、通期業績予想は据え置きとしました。当期から始まった米国の関税政策は、当社業績に一定の影響を及ぼしており、下半期から関税による費用増加が顕在化する見込みです。これらの関税影響により、上半期業績の計画過達が相殺されると見込んでいます。なお、業績予想の前提となる想定為替レートは、1米ドル = 145円・1ユーロ = 155円です。

売 上 高	806億円	前期比 +4.7%
E B I T D A	189億円	前期比 -7.5%
経 常 利 益	138億円	前期比 -19.9%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	83億円	前期比 -2.4%
想定為替レート	1米ドル = 145円	
	1ユーロ = 155円	

Business Domain [事業領域]

歯科事業 Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。

2023年に買収したリファインは歯科事業に含まれています



歯科用ハンドピース
Ti-Max Zシリーズ



インプラントモーター
Surgic Pro2



歯科用マイクロモーター
NLZ



予防歯科製品
Varios Combi Pro2

DCI事業 DCI Business

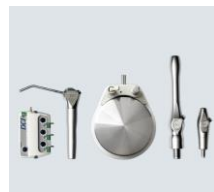
2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア
DCI Edge Series 5+



デンタルキャビネット



デンタルパーツ

外科事業 Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



外科用電動ドリル
Primado2 コンソール



サージカルモーター
P200-SMHシリーズ



アタッチメント
P300アタッチメント



ティスボーザブル
バー

機工事業 Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用するモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。

2022年に買収したイエガーは機工事業に含まれています



スピンドル
E-4000シリーズ



スピンドル
E-3000iシリーズ



電動ハンドグラインダー
Emax EVOLution

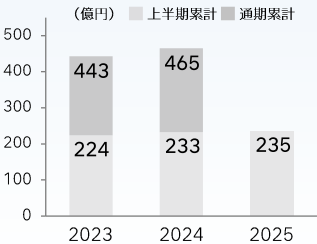


イエガー
高周波スピンドル

Sales Trends

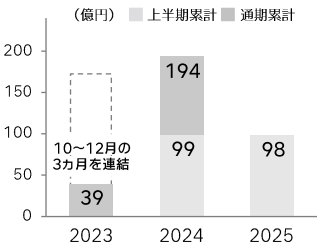
[各事業の売上推移]

歯科事業



国内	販売実績 前年同期比	▼	さらなる成長を狙うべく流通網改革に着手、一時的な販売減。OEMは増収
欧州	販売実績 前年同期比	▲	競争力ある自社製品が顧客に選ばれ販売伸長。3月発売の新製品が増収に寄与
北米	販売実績 前年同期比	▼	市場シェアは維持したものの在庫調整が続き販売減。OEM販売は前期並み
アジア	販売実績 前年同期比	▼	中国では入札案件の戻りなど回復兆候あるものの販売減。その他も販売軟調
その他	販売実績 前年同期比	▲	中近東は軟調だったものの、豪州は前期並み、南米・ロシアでは大幅増収

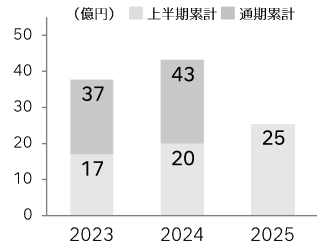
DCI事業



北米	販売実績 前年同期比	→	・2025年上半期における米国市場全体のデンタルチェアの販売台数は前年同期比▲3%と需要弱含み。特にDSO向け販売が軟調 ・DCIのデンタルチェア販売は、大手DSO向けが軟調だったものの、今年1月から取引開始した大手ディーラー向けの販売が想定以上に伸長し、売上高は前年並みを維持
----	---------------	---	---

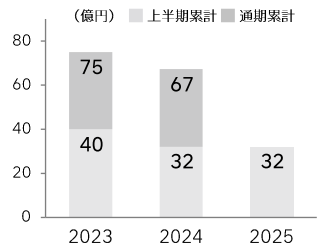
* 2023年度は、DCI社の10月～12月(3カ月)業績のみ連結しています

外科事業



国内	販売実績 前年同期比	▲	競合撤退によって拡大した商機を着実に獲得、機器本体や周辺機器の販売伸長
欧州	販売実績 前年同期比	▲	需要弱含みが続いたものの域内の営業体制強化が奏功し、二桁増収を達成
北米	販売実績 前年同期比	▲	医療機器メーカーや手術支援ロボットメーカーとの協業ビジネスが拡大
アジア	販売実績 前年同期比	▲	主力の中国市場では消耗品の販売が好調。東南アジア諸国への販売も堅調

機工事業



国内	販売実績 前年同期比	▼	需要底打ちの兆しが見えてきているものの本格的な販売回復には至らず減収
欧州	販売実績 前年同期比	▼	ナカニシ製品は増収に転じたものの、再建計画を推進中のイエガーは販売減
北米	販売実績 前年同期比	▲	ナカニシ製品は前期並みに留まったものの、イエガー製品が復調して増収
アジア	販売実績 前年同期比	▲	中国市場の需要回復が本格化する中、大型案件の獲得も重なり大幅増収

Topics [歯科展示会・新製品]

IDS2025 世界最大の歯科展示会にグループ4社が出展

3月25日から5日間、ドイツ・ケルンにおいて世界最大の歯科展示会「IDS2025」が開催され、世界156カ国から13万人を超える方々が来場しました。IDS2025にはNSKのほか、DCI、リファイン、イエガーとグループを挙げて出展、各社ブースで精力的な販売・宣伝活動を行いました。過去最大規模のブースで出展した当社は、歯科用ハンドピースや予防歯科製品の新製品を初披露しました。当社ブースに来場された歯科医師や流通業者の皆様は、NSKブランドに対して非常に高い関心を示されました。新製品を実際に手に取って試用された際には、その性能や品質に高い評価をいただき、多くの引き合いを頂くことができました。



世界各地から集結したNSKスタッフが精力的に製品説明・デモンストレーションを実施



新製品：歯科用ハンドピース「Ti-Max Z99L」



新製品：予防歯科製品「Varios Combi Pro2」



DCIは新製品「Series 5+」を発表



リファインブースにも来場者が多数つめかけた



イエガーは新製品「DentaSpin33」を発表



中期経営計画「NV2030」

8月8日、当社は新しい中期経営計画「NV2030」を発表しました。創業100周年を迎える2030年度を最終年度とした6カ年の経営計画となります。歯科・DCI・外科・機工の各事業領域でのさらなる成長を目指して、経営計画を着実に遂行してまいります。

計画策定の前提条件

事業環境の予測

歯科事業	市場は緩やかに拡大 / 市場の二極化が進む / DSO*・PB**販売の拡大
DCI事業	米国の歯科医師は増加 / 歯科用椅子需要も拡大 / 市場の寡占化が進む
外科事業	低侵襲手術・対応機器の需要拡大 / 高品質ドリルメーカーへの期待増加
機工事業	需要サイクルや景気変動から大きな影響 / 精密微細加工分野の需要拡大

* DSO … 多数の歯科医院を傘下におさめる大規模歯科クリニックチェーンを指す。歯科業界で急速に勢力を拡大している
** PB … プライベートブランド。販売店等がメーカーからOEM供給された製品に自らのブランド名を冠して販売する製品群を指す

経済動向の予測

安定的な経済環境・市場成長・法規制

想定為替レート

1米ドル=145円 / 1ユーロ=155円

リスク要素

急激な為替変動 / 米国関税率の高騰 /
不況・災害・テロ / 原材料価格の高騰 /
各国医療機器規制の急激な内容改訂

NV2030 基本方針

攻守兼備の事業戦略を遂行

攻め：歯科北米・外科のさらなる事業拡大
守り：主に新興国で進む価格競争への対応

攻め	さらなる事業拡大	守り	さらなるコスト削減
・ 歯科・外科で競争力ある新製品x販売強化		・ 開発機能・生産機能のオフショア推進	
・ DSO販売本格化とOEMビジネス強化		・ AI活用とDX推進による生産性向上	

戦略遂行を支える経営基盤強化

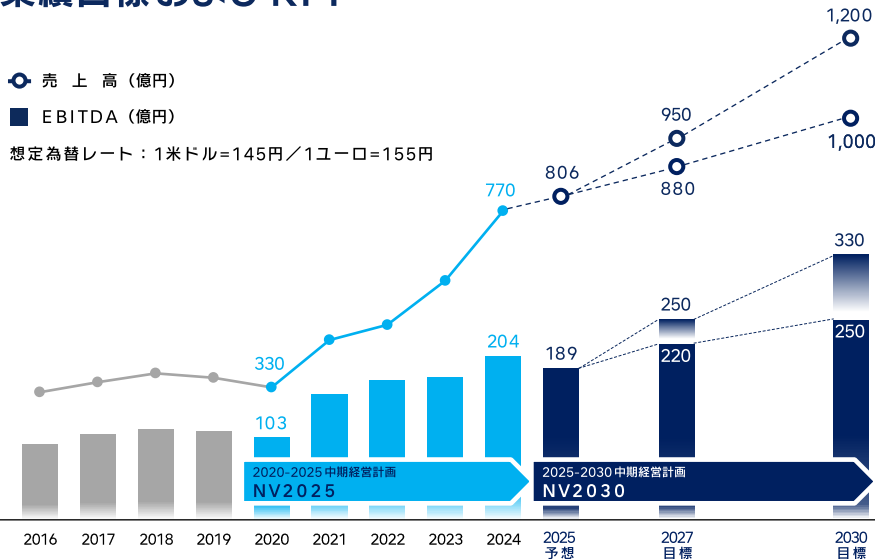
開発・生産	財務戦略
・ グローバル開発・調達の体制づくり	・ 戦略投資(M&A)200~600億円想定
・ マザー工場「A1」「M1」の生産性向上	・ 株主還元への拡充：総還元性向70%

業績目標およびKPI

● 売上高 (億円)

■ EBITDA (億円)

想定為替レート：1米ドル=145円 / 1ユーロ=155円



中期経営計画「NV2030」業績目標・KPI

2030年度 連結売上高 1,000~1,200億円	2030年度 連結EBITDA 250~330億円
EBITDAマージン 25%以上	ROE 12%
株主還元 総還元性向 70% 累進配当制度*採用	手元流動性比率 8ヵ月以内

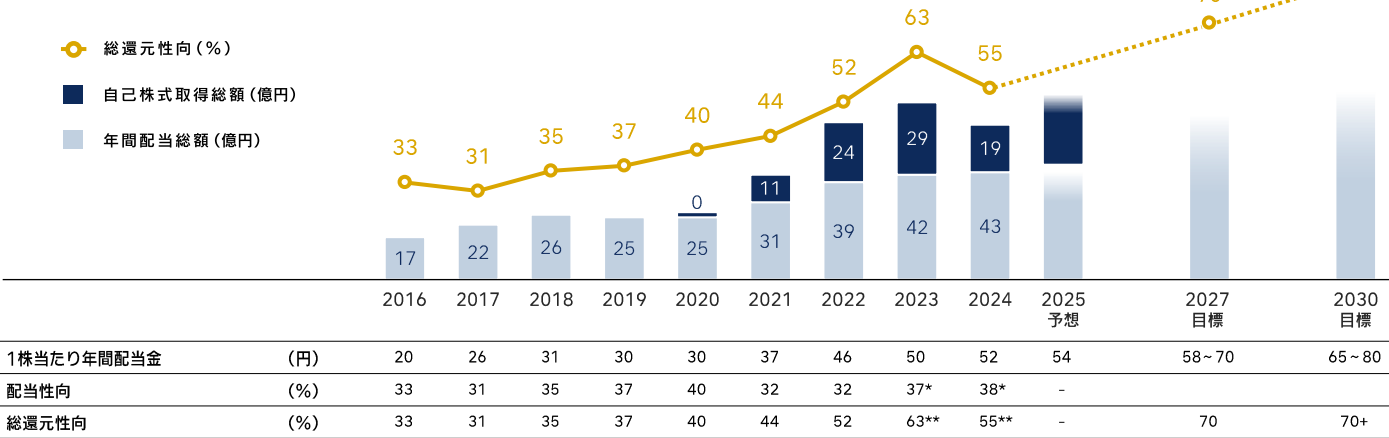
* 累進配当制度 … 一度引き上げた配当金は原則として減額せず、可能な範囲で増配していくことで継続的且つ安定的な株主還元を志向するものです

Topics [中期経営計画]

株主還元

新しい中期経営計画「NV2030」の策定にあたっては株主還元のさらなる拡充を図りました。中期経営計画の遂行とともに事業規模拡大が見込まれ、これに伴いキャッシュインも伸長していく想定です。これらのキャッシュをリスク耐性や事業投資のための内部留保にのみ留めるのではなく、株主還元の拡充にもバランスよく配分していく方針です。新たに「累進配当制度*」の採用と「総還元性向70%」への引き上げにより、株主還元のさらなる拡充を図っていきます。

* 累進配当制度 … 一度引き上げた配当金は原則として減額せず可能な範囲で増配していくことで、継続的・安定的な株主還元を志向します



* … 2023年度の配当性向・総還元性向は、DCI買収に係る特別利益を控除した調整後純利益を基準値として算出

** … 2024年度の配当性向・総還元性向は、イエカール減額に係る特別損失を控除した調整後純利益を基準値として算出

サステナビリティ

当社が創業当時から研鑽し続けてきた「削るテクノロジー」を活用して、歯科・外科・機工の各事業分野で革新的な製品・サービスを創出し続けることで、事業価値の最大化を図るとともに社会課題へのソリューションを提供していきます。

重点テーマ

1 革新的な製品の提供を通じた社会課題の解決

革新的な製品のリリースと市場への浸透

2 医療従事者への安心・安全の提供

徹底した品質追求、医療従事者へのレクチャーや情報提供

3 多様な人材が成長できる職場づくり

DE&Iの推進、従業員への教育投資、働き甲斐の提供

4 責任あるサプライチェーンの推進

人権の尊重、コンプライアンス、企業倫理の遵守

5 気候変動への対応・循環型社会への貢献

製品ライフサイクルの全体で環境負荷低減を志向

SDGs

3 持続可能な開発目標

9 産業・インフラの革新

3 持続可能な開発目標

3 持続可能な開発目標

5 性別平等

8 豊かになる

17 持続可能な開発目標

12 持続可能な消費と生産

13 気候変動への対応

当社の取り組み

高品質で適価な製品・サービスの提供を通じて、人々の健康寿命の延伸・工場の自動化等の社会課題に対する“解”を提供

歯科事業におけるセミナー活動、外科事業における学会出展・ハンズオンでの充実

生産現場を支える技能者の育成機関の運営により、技能習得の迅速化・均質化を実現

策定した「ビジネスパートナーCSRガイドライン」に基づき、取引先とともにサステナビリティ経営を推進

RD1・M1・A1・A1+において、GHGプロトコル・スコープ1および2のカーボンニュートラルを達成

第三者評価

MSCI ESG RATINGS

A

CCC B BB BBB A AA AAA

2020 B 2021 BB 2022 BBB 2023 A 2024 A

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

Topics [M1]

M1 2025年4月 全棟完成

組立工場, アフターサービスセンター, 部品・完成品倉庫, カフェテリア
延床面積: 約20,000平米 工期: 2023年4月~2025年4月 設備投資総額: 約85億円

当社の組立・包装・出荷・修理能力の底上げを目的に建設を進めてきた新工場「M1」が2025年4月に全棟完成しました。開発・製造・販売を三位一体で担う垂直統合型のビジネスモデルを採用する当社にとって、M1は製造を支える中核工場となります。生産量アップ、生産性向上、リードタイム短縮に加え、省エネ設備やグリーン電力の活用によってサステナビリティ経営を志向します。また、鹿沼の自然を眺望できるカフェテリアの設置等により、従業員へのホスピタリティの充実を図っていきます。



M1のフロア設計においては倉庫・組立・包装・出荷の各機能がシームレスにつながるように動線を最適化



多品種少量生産に対応する組立工場



国内修理を一手に担うサービスセンター



迅速な修理サービスは顧客に好評



工場屋根にはソーラーパネルを配備



最上階には眺望を楽しめるカフェテリア



大自然を満喫できるウッドデッキ



各エリアをつなぐ解放感のある廊下



美しい鹿沼の自然と調和した新工場



四季折々の自然の移ろいを感じられる回廊



座禅スペースやトレーニングマシンを完備

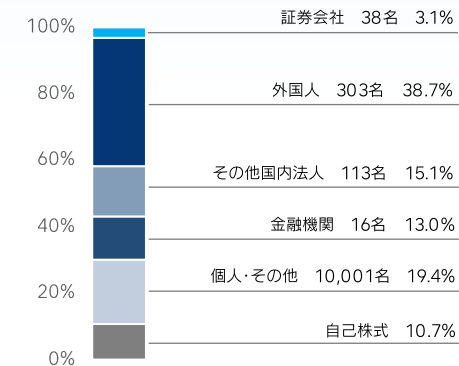


景観を取り込んだ休憩室

Stock Information [株式情報]

株式の状況（2025年6月30日現在）

- 発行可能株式総数 375,000,000株
- 発行済株式の総数 93,418,200株
- 株主数 10,472名
- 株式分布状況



大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	4,670千株	5.6%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.4%
中西千代	4,362千株	5.2%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,721千株	4.5%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,236千株	3.9%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.7%
中西英一	2,802千株	3.4%
中西賢介	2,798千株	3.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,688千株	3.2%
足利銀行	2,265千株	2.7%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,244千株	2.7%

* 当社は自己株式を 10,041千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
* 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

会社概要（2025年6月30日現在）

会社名	株式会社ナカニシ
創業	1930年2月
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金	867百万円
従業員数	連結 2,217名 単体 1,123名
本社	栃木県鹿沼市下日向700
事業所	本社RD1・A1工場・A1+工場・M1工場 東京事務所・大阪事務所・名古屋事務所
グループ会社	NSK America（米国） DCI International（米国） NSK Europe（ドイツ） Nakanishi Jaeger（ドイツ） NSK France（フランス） NSK United Kingdom（イギリス） NSK Dental Spain（スペイン） NSK Dental Italy（イタリア） NSK Dental Nordic（スウェーデン） NSK RUS（ロシア） NSK Middle East（UAE） NSK Shanghai（中国） Refine Medical Instrument（中国） NSK Dental Korea（韓国） NSK Asia（タイ） NSK Oceania（オーストラリア） NSK America Latina（ブラジル）

（2025年3月21日現在）

役員	代表取締役社長執行役員 代表取締役副社長執行役員 取締役専務執行役員 社外取締役 社外取締役 社外取締役 常勤監査役 社外監査役 社外監査役	中西英一 中西賢介 鈴木正孝 野長瀬裕二 荒木由季子 汐見千佳 播田仁 澤田雄二 馬来義弘
執行役員	社長執行役員 CEO 副社長執行役員 COO 専務執行役員 執行役員 CFO 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	中西英一 中西賢介 鈴木正孝 鈴木大介 有賀浩一 田中章雄 永沼司 宮本幸次 菊地正晃

株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日 から 12月31日 まで
定時株主総会	毎年3月開催
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
お知らせ	●住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申し出先 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 ●未払配当金の支払い 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ビジネスレポート印刷冊子の郵送取り止めのご案内

当社は地球環境に配慮した省資源化の取り組みの一環として、ビジネスレポートの印刷冊子の郵送を取り止めまして、その代替として当社のホームページ(<https://www.nakanishi-inc.jp/ir/dataroom/#br>)に掲載しています。ご理解いただきますようお願い申し上げます。